

京都部落史研究所報目次

1号 (1978年1月)	
京都部落史研究所の発足に当って	師岡 佑行
京都部落史研究所に期待する	
京都の歴史の見直しを	船橋 求己
甦る戦中の思い出	山中 未治
歴史のやみに光を	吉田 明
研究所設立までの経過	
所員紹介	
編集ニュース	
資料・「京都における部落の歴史」編纂趣意書	
2号 (1978年2月)	
一イギリス人の見た一九五〇年・舞鶴の被差別部落	師岡 佑行
井上清氏にきく 部落問題と私の出会い	
編集ニュース	
京都部落史研究所に期待する 全国的広がり	羽室 清
3号 (1978年3月)	
園部町の部落をたずねて さまざまなその成り立ち	師岡 佑行
編集ニュース	
奈良本辰也氏にきく 初期の部落問題研究所	
4号 (1978年4月)	
盛田嘉徳著『河原巻物』紙背にひそむ歴史の事実	横井 清
堀口牧子著『現代日本の差別意識』新たな差別意識論への問題提起	藤田 敬一
編集ニュース	
5号 (1978年5月)	
京都市社会部の調査と部落問題関係資料について(1)	秋定 嘉和
荻野家本「雑色要録」松村家本との異同について	源城 政好
6号 (1978年6月)	
アフリカとフランスから来た友人たち	師岡 佑行
京都市社会部の調査と部落問題関係資料について(2)	秋定 嘉和
7号 (1978年7月)	
絵馬と田中車連中	師岡 佑行
京都市社会部の調査と部落問題関係資料について(3)	秋定 嘉和
編集ニュース	

京都部落史研究所報目次

8号 (1978年8月)	
路面電車と車夫の抵抗—市電廃止によせて—	長尾眞砂子
京都市社会部の調査と部落問題関係資料について(4)	秋定 嘉和
9号 (1978年9月)	
長田部落と一本の金棒	師岡 佑行
京都市社会部の調査と部落問題関係資料について(5)	秋定 嘉和
10号 (1978年10月)	
遠い旅、尽きせぬ興味—阿部謹也著『中世を旅する人びと』にふれて—	横井 清
京都市編入町村引継書類について(1) 明治中期から大正の部落の姿	山本 尚友
11号 (1978年11月)	
大塩の乱と京都	師岡 佑行
京都市編入町村引継書類について(2) 野口村分村と上品蓮台寺の反対	山本 尚友
12号 (1978年12月)	
近世京都における最底辺の生活(1)—中島棕隠『都繁昌記』から—	師岡 佑行
京都市編入町村引継書類について(3) 田中夜学校と部落改善運動家	山本 尚友
13号 (1979年1月)	
『諸式留帳』にみる千本野口と蓮台野村	辻 ミチ子
近世京都における最底辺の生活(2)—中島棕隠『都繁昌記』から—	師岡 佑行
14号 (1979年2月)	
近世京都における最底辺の生活(3)—中島棕隠『都繁昌記』から—	師岡 佑行
京都市の同和行政文書(1) 六十二点の簿冊を収集	山本 尚友
15号 (1979年3月)	
変りつつある部落「京都の被差別部落」取材ノートから	土方 鉄
京都市の同和行政文書(2) 運動、占領軍関係の資料も	山本 尚友
16号 (1979年4月)	
『福知山市史 史料編一』所収「堀村代々庄屋記録」について(上)	師岡 佑行
(紹介) 解放運動の中で文化への取組みすすむ	
17号 (1979年5月)	
『福知山市史 史料編一』所収「堀村代々庄屋記録」について(下)	師岡 佑行

京都部落史研究所報目次

18号 (1979年6月)	
京都柳原と部落改善運動(1) 経済の衰微と進取会の結成	白石 正明
京都市の同和行政文書(3) 他都市同和事業調査書類	山本 尚友
19号 (1979年7月)	
京都柳原と部落改善運動(2) 進取会の衰退と森秀次差別事件	白石 正明
20号 (1979年8月)	
京都柳原と部落改善運動(3) 森秀次差別事件と大日本同胞融和会	白石 正明
21号 (1979年9月)	
横井清著『東山文化 その背景と基層』 文化の担い手に光を	源城 政好
成果のあった丹後調査 文献史料収集についての報告	山本 尚友
22号 (1979年10月)	
出作、小作とリョウブ、ミノコ(1)―丹波木崎での聞き取り―	師岡 佑行
23号 (1979年11月)	
丹後調査報告1 はじめに一貧困の中での差別	堀口 牧子
丹後調査報告2 国分一牛の角はお西さんへ	長尾眞砂子
追悼・松崎武俊氏 ひとつの宿題	師岡 佑行
24号 (1979年12月)	
丹後調査報告3 杉の末―水平社が精神的支柱に	長尾眞砂子 堀口 牧子
25号 (1980年1月)	
丹後調査報告4 上司―航空隊が土地を奪った	灘本 昌久
丹後調査報告5 日置―子守りと先生	師岡 佑行
丹後調査報告6 算所―宮津藩最大の部落	山本 尚友
26号 (1980年2月)	
丹後調査報告6―史料紹介「屠者由緒記」について	源城 政好
27号 (1980年3月)	
丹後調査報告7 大島―働き助けあった村	白石 正明
28号 (1980年4月)	

京都部落史研究所報目次

清水紫琴と「移民学園」(1) 明治二〇年代、女流民権家として登場	長尾眞砂子
29号 (1980年5月)	
清水紫琴と「移民学園」(2) 柳原部落訪問は外的要因	長尾眞砂子
東本願寺塔頭金福寺について (上)	山本 尚友
30号 (1980年6月)	
「模範」的融和教育の一例 八幡尋常小分教場の誕生と解体	白石 正明
31号 (1980年7月)	
清水紫琴と「移民学園」(3) 部落とは切り結ばなかった紫琴	長尾眞砂子
32号 (1980年8月)	
東本願寺塔頭金福寺について (下)	山本 尚友
33号 (1980年9月)	
上田静一と田中親友夜学校(1) 部落の動きと呼応して夜学創設	白石 正明
34号 (1980年10月)	
上田静一と田中親友夜学校(2) 夜学の危機と帝国公道会への接近	白石 正明
35号 (1980年11月)	
上田静一と田中親友夜学校(3) 自ら先頭に北海道へ移住	白石 正明
36号 (1980年12月)	
協同夜学校の設立について	中島智枝子
37号 (1981年1月)	
近世八幡志水東村の商業活動と七人株のいわれ	師岡 佑行
38号 (1981年2月)	
寺院と僧侶 その教育とのかかわり	山本 尚友
39号 (1981年3月)	
天明年間伏見騒動にみる身分引上げの問題 歴史におけるパラドックス	師岡 佑行
40号 (1981年4月)	
高松差別裁判糾弾闘争をめぐる香川現地の動きについて	灘本 昌久

京都部落史研究所報目次

41号 (1981年5月)	
笠置の部落を尋ねて (上)	小林 静子
42号 (1981年6月)	
笠置の部落を尋ねて (下)	小林 静子
史料調査報告 八幡市	灘本 昌久
43号 (1981年7月)	
京都田中部落と米騒動	長尾眞砂子
44号 (1981年8月)	
書評・小林茂編『近世被差別部落関係法令集』総合的把握への一里程	中尾 健次
史料調査報告 田辺町 (綴喜郡)	灘本 昌久
45号 (1981年9月)	
京都府と明治四年賤民制廃止令	上杉 聡
46号 (1981年10月)	
京都における自由民権運動と部落	師岡 佑行
史料調査報告 亀岡市1	
47号 (1981年11月)	
伊東茂光と水平社運動	八箇 亮仁
48号 (1981年12月)	
春日社の神鹿と被差別部落 『松操録』に見る犬追御用人足	源城 政好
49号 (1982年1月)	
〈史料紹介〉洛中洛外図に見える河原者村について	源城 政好
江口三省小論(1)	白石 正明
50号 (1982年2月)	
神鹿殺害の処置をめぐって—近世初期の一事例—	東 義和
京都部落史研究所報1～50号総目録	
51号 (1982年3月)	
京都府下明治中期革製造業の状態について	大串 夏身
江口三省小論(2)	白石 正明

京都部落史研究所報目次

52号 (1982年4月)	
江口三省小論(3)	白石 正明
53号 (1982年5月)	
『部落史研究文献目録』の編集をおえて	山本 尚友
54号 (1982年6月)	
改姓問題をめぐる徴兵拒否の闘い—太平洋戦争下の差別糾弾—	灘本 昌久
55号 (1982年7月)	
大徳寺の葬儀と蓮台野	田良島 哲
史料調査報告 亀岡市2	灘本 昌久
56号 (1982年8月)	
《研究ノート》寺院史料にみる部落の成立 (上)	山本 尚友
57号 (1982年9月)	
《研究ノート》寺院史料にみる部落の成立 (下)	山本 尚友
58号 (1982年10月)	
新撰組隊士になりそこねた男 (上)	布引 敏雄
59号 (1982年11月)	
新撰組隊士になりそこねた男 (下)	布引 敏雄
史料調査報告 福知山市	灘本 昌久
60号 (1982年12月)	
綾部調査雑感	師岡 佑行
61号 (1983年1月)	
笠置町調査報告 有市の教育と子どもの生活	八箇 亮仁
部落の心—木村修さん御遺族からの御寄付によせて	師岡 佑行
62号 (1983年2月)	
笠置町調査報告1 有市の教育と子どもの生活 (下)	八箇 亮仁
笠置町調査報告2 山仕事から土木へ	小林 静子
63号 (1983年3月)	
笠置町調査報告3 水平運動と差別糾弾闘争 (上)	長尾眞砂子

京都部落史研究所報目次

64号 (1983年4月)	
笠置町調査報告3 水平運動と差別糾弾闘争 (下)	長尾眞砂子
わが研究所への不当な批難に対して声明を發表	師岡 佑行
〈資料〉京都部落史研究所規約	